

群馬県と前橋市は、前橋市の官民連携のまちづくり活動を更に強化し、世界に誇れる持続的な県都の発展につなげるため、県庁～前橋駅の道路空間に関する空間デザインの策定(県庁～前橋駅クリエイティブシティ構想)を進めております。
この取り組みの一環として、これまでにアンケートやオープンハウスを実施し、地域の皆様の意見をお聞きしてきました。
このたび、皆さまからいただいたご意見、前橋市のまちづくりの指針(前橋市アーバンデザイン)における将来像、地元自治会の要望などを基に『**まちづくりに関して配慮する事項**』をとりまとめましたので、アンケート等実施結果と併せて、裏面でお示しいたします。
この『まちづくりに関して配慮する事項』は、デザイン策定に向けた国際コンペの前提条件等として活用します。
今後は、コンペの一次審査(複数案選定)、最優秀作品決定の段階で、公開展示会などを開催し、地域の皆様のご意見を伺います。
詳細な道路構造や、出入り検討などにつきましては、最優秀作品選定後、基本設計以降の段階で皆様と調整させていただきます。

地域の皆様の参加の場・手法	お知らせ	群馬県・前橋市
<p>● 第1回まちづくり会議(オープンハウス)</p> <p>今後の進め方をご説明するとともに、アンケートやオープンハウスを通じてご意見を伺います</p>	<p>アンケート調査</p> <p>アンケート回答</p> <p>まちづくり通信</p>	
<p>● 第2回まちづくり会議(地元説明会)</p> <p>アンケート結果から、地域(皆さま)が重視する『まちづくりに関して配慮する事項』について確認・共有します</p>	<p>まちづくり通信 or HP公表</p>	<p>アンケート結果から、『まちづくりに関して配慮する事項』について整理します</p> <p>今ココ</p>
<p>● 第3回まちづくり会(公開展示会)</p> <p>空間デザインの複数案を『公開展示』し、地域の皆様からご意見を伺います。伺った意見は、審査等に活用します</p>	<p>まちづくり通信 or HP公表</p>	<p>『まちづくりに関して配慮する事項』を参考に、空間デザインの複数案を決定します</p>
<p>● 第4回まちづくり会議</p> <p>空間デザインの決定案について、説明します</p>	<p>まちづくり通信 or HP公表</p>	<p>空間デザインをまとめます</p>
<p>デザイン策定後も、引き続き地域の皆さまに意見を伺いながら、磨きをかけ、構想の実現を目指します。</p>		<p>基本設計・実施設計の実施</p>

1. アンケート・オープンハウス結果について

◆設問内容

「県庁～前橋駅間におけるまちづくりについてみなさんが「期待すること」、「気になること」、「不安に思うこと」はどんなことですか？」

◆実施期間

(アンケート) R6.7.1～7.26
(オープンハウス) R6.7.21 けやきウォーク前橋、7.28 馬場川通り

◆対象地区

沿道5自治会(紙アンケート)、WEBアンケートは対象を限定せず実施

◆回答数

- 紙アンケート : 回答 376部 (配布 2,300部)
- WEBアンケート : 回答 389部
- オープンハウス : 回答 80部

◆アンケート結果概要

アンケートやオープンハウスの結果からは、「前橋駅」、「五差路」、「けやき並木」、「公共交通」、「横断歩道橋」等への意見や、まちなかの賑わいや活気づくりに関する期待の声が多く寄せられました。

2. 第2回まちづくり会議(説明会)について

皆さまからいただいたご意見、前橋市アーバンデザイン、地元自治会の要望などを基に国際デザインコンペの提案の参考となる地域の配慮する事項をとりまとめ、地域の皆様にご説明しました。

- まちづくり会議
日時:9/13, 9/15 会場:前橋プラザ元気21 延べ16名が参加

※説明会資料や、『まちづくりに関して配慮する事項』の詳細については、公式HPからご参照ください。

▶公式HP
<https://creative-city.pref.gunma.jp/>



3. まちづくりに関して配慮する事項の概要(抜粋)

県庁前通り、国道50号

- 歩行者に優しい空間づくりを期待する
- 通りの雰囲気良くならないことが不安である

前橋停車場線

- 駅前通りを歩いて楽しい空間にしてほしい
- けやき並木の活用が不十分である
- 駅前にいきたい施設がないため、街が活性化しない

本町二丁目交差点(五差路)

- 五差路を早期に改善してほしい
- 歩道橋の老朽化や汚れが気になる
- 交通渋滞を解消してほしい

等々



本内容に関するご意見がございましたら、下記問合せ先まで

【問合せ先】
群馬県 県土整備部 都市整備課 電話：027-226-3840
前橋市 都市計画課 電話：027-898-6944

■裏面に説明会における皆さまのご意見を掲載しております。

説明会における皆さまからのご意見(9月13日)

(1) 道路空間デザインの決定について

【地域住民】：空間デザインはどのようにして決定していくのか。

【事務局】：各分野の専門家、地元代表者、道路管理者等で構成された審査委員会により評価を行い最終決定していく。最終決定までには公開展示会などを開き、地域のみならずからも意見をいただきながら進めていく。

(2) 歩くことへの意識改革について

【地域住民】：歩くことへの意識が薄いと感じている。歩く意識が無い中で道路整備を行っても、今の状態と変わらない可能性もあるのではないかと。

【事務局】：アンケート結果からは利用者意識までは把握できないが、道路空間をウォークアブルにしていくことが、意識改革への切り口にもなると考えている。

(3) 本コンペの対象について

【地域住民】：今回のデザインコンペで対象とするのは、道路のデザインだけか。

【事務局】：道路のデザインだけでなく、道路空間と一体となった街並みについても提案を求める予定である。また道路の使い方や、人を呼び込むためのプロセスなどについても合わせて提案を求める予定である。

【地域住民】：道路のデザインは理解できるが、沿道建物も含めたコンペなのか。沿道建物に対する支援やサポートはあるのか。

【事務局】：コンペで求める提案については、沿道建物に対する補助メニューなどまでは含めてはいない。前橋市ではすでに民間に対する補助メニューがあるため、そういったものを活用しながら、民地側でもリノベーションが生まれることを期待している。

(4) 公共交通専用レーン設置やトランジットモール化※による交通影響について

【地域住民】：公共交通専用レーンやトランジットモール化によって、現在の交通が混雑してしまうのではないかと。

【事務局】：当該道路だけでなく、周辺の道路を含め、交通のシミュレーションを実施し、周辺交通への影響について検証を行っている。市内の道路整備が進むことを想定すると、現状の交通よりも渋滞が発生しないことを確認している。

※トランジットモール・・・特定のエリアで車の通行を制限し、歩行者やバス、自転車が優先されるようにする街づくりの手段の一つ

(5) まちづくり会議の今後の開催スケジュールについて

【地域住民】：スケジュールとして、今後のまちづくり会議はいつ頃を想定しているのか。

【事務局】：次回以降のまちづくり会議は、デザインコンペがスタートした後の開催を予定しているため、現時点でいつ頃かは明言できない。

(6) コンペにおける前提条件について

【地域住民】：本説明会の趣旨が分かりづらい、歩いて楽しいまちづくりを望むことは当たり前のことでもあるし、コンペの条件でこれらを出されても困るのではないかと。もっと、前橋の歴史や地理を提示してはどうか。

【事務局】：本説明会は、地域がこの道路空間に求めていることと方向性が間違っていないかを確認させていただくことと、今後の予定を共有することが目的である。また、コンペでは前橋の歴史や文化について、市の文献などの情報提供も行い、前橋について十分把握した上での提案を求めることとしている。

【地域住民】：今回説明された県庁から五差路はトランジットモール、五差路から前橋駅は公共交通専用レーンと一般車線の混合、五差路は平面交差の形状にするということがコンペの条件となるということか。

【事務局】：認識のとおりである。説明した内容などを前提条件としつつ、地域の皆様の意向に沿った要求事項なども踏まえて、最終的な最優秀作品を決定していきたいと考えている。

説明会における皆さまからのご意見(9月15日)

(1) 空きビルなどの民間活用について

【地域住民】：県庁前通りでは空きビルが目立つが、今回の空間デザインに対して、民間の開発が追いつくか懸念がある。民間の活用については、どのように考えているのか。

【事務局】：今回のコンペでは道路空間の使い方も含めて、賑わいを創出するような提案を求める予定である。すでにあるイベントもあるが、そういったものも活用して、人が集まるような循環を生み出し、周辺民地まで含めた賑わいに発展することを期待している。

(2) 本事業のコンセプトについて

【地域住民】：本事業のコンセプトは五差路の改善を含めた交通の円滑化なのか、それとも賑わいづくりなのか、ポイントがあれば教えてほしい。今回の取組によって、民間も頑張っていく声も広がっていくと思うので、ぜひ頑張ってもらいたい。

【事務局】：コンペの主な部分としては、道路空間を再編することで、道路の使い方を変えていき、賑わいを創出することが大きなポイントと考えている。その対象区間の中に五差路という円滑な交通に課題がある交差点が含まれているため、これらの課題も解決していきたいと考えている。

(3) 市民への周知について

【地域住民】：説明会への参加者が少ないため、周知をしっかりと行ってほしい。市民はもっと関心を持たなければいけないと感じている。

【事務局】：なるべく多くの地域の方に参加していただきたく、今回は毎戸配布を実施したところである。今後も説明会等を行う予定であるが、今後も是非とも参加をお願いしたい。広報に掲載するなどの工夫を行うが、事務局からの周知だけでは不十分のところもあるため、周りの方も誘いあわせの上、参加していただけるとありがたい。また、今回の説明会の内容については、ホームページへの掲載などにより、地元の方々への周知を図っていく。